



• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2 JAPAN 1 m 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

へ13
2778

門
遠
1809

門
遠
18
2778



へ13

2778

卷

四

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

一

十

九

八

七

六

五

四

三

二

まやじと。決り、傳と速く。
傾城は受の虎も少くちぐく
ともえの或も惑ひ。あへ注キテ
ひもおうく面白き。されど
れを手取足の口もと
ぬとも。此書の奥儀よ眼を

ほく。よく契情のんと大集
まとはとえまもえ

安永七年

つるの孟姜

田子金魚撰

お坐綱目

○方一

鄭裸の弟上
游川、矛賣

○方二

當世の風俗
大通のよ箋

○方三

紋日の風流
色あぬ思秋
和尙経文
床入の魂膽
慈の赴向
息子へのめ

○才四
お奴の高美
からくと本
お詫のいくたて
けいじのむだす
川が欠處けふぢ
川せせらぎそ魂

角つのやがと化かわす
ナハ大西の傳授でんじゆ也よ

當世とうせいとくち卷
むさーのと。湧わきてあがくすま川。さが彦峰ひこみねや待乳山。も
に涼すずよ月つき雪ゆき。四季しきのあがちも日本にほんよまくはけー風色
あれ。日本にほん燒やけとよあひ。昔むかしのうらハ。す風て。トト居
のミみ草くさトトす。めぐれ原はらとレレとあ。をのこらこら此こ郭くわ。今
せ大門おおもん通つ。車くるまと。寛永かんえいのと。は下おへ移うつす。まの花。
秋あきの火ひ焚や。火ひ焚やと。と。人ひとと。むくと。と。と。

かづく風俗も。おうり里うはれば。ゑもんねて。ゑもへうちと
さまで。のまなみ茶室も。石のこあつて。路中も。今。よめくじと
末やいざ。ゆうと。まんくあと。肩よみぬ。ひもきなく。
すう色どる。ゆけ男。扇をしらしをう立つ。まか。ハヌ
きば。さか。つい上別た。こらのたゞい。皆に
山のを因りて。當世の意氣よつて。いそや郡内ト。あ。
みド。羽鐵。大だき。仰と袖。ひそか。化蝶。志これ。翁む。
あとうせのゆに。うさんとすき。とく。ましよ金あり。やが
にていきなる。き。あり。色男。めぬ。が。男の。あは。も。か。あ
男。う。ぜま。か。ぬ。金。と。ミド。と。男。う。い。わ。ね。そ。な。だ。ら。く。う
ち。ん。が。男。と。い。は。一。ま。中。よ。い。き。じ。い。き。と。み。や。ぞ。穴。と
あ。れ。て。穴。と。い。ば。と。で。う。て。ま。つ。が。く。よ。き。や。う。に。す。て。お。と。ふ
ー。く。な。う。ハ。う。り。い。き。ド。あ。り。て。う。う。ま。め。う。う。う。う。あ。う。
う。う。う。う。能。お。う。が。せ。い。あ。う。皆。や。ま。う。一。チ。言。れ。む。
や。ま。う。一。チ。言。れ。む。
え。だ。い。人。あ。れ。や。う。げ。て。感。わ。り。て。獲。う。に。森。羅。象。象。と
だ。と。ほ。う。う。と。川。と。候。り。な。う。バ。真。の。大。あ。う。い。

うべー。けいせいと論まるすもまぐれ。おう。ル女とた
きやうにて。新形うてたく。なまくよからく。うせられ
のう人の評よ。おもがときハ林リ。狼ふくはゆき。飛
鷺ちくは鶴く。美きよ馬鹿わく。おとんと風ぞく
と。五ツじゆ。一。揚づくが中止すもあ。五三のよ
よ。ふとレーハ宣あうべ。またもよあの中よ寄を
けいせいと中よ化様ましむり
あ、よ松田やの流川を下れと尋ねる。千石と船下ろ人の

娘も。初の名ハおやゆい。おもとたぶの肩をう。だら
のいそお溢れ。おひれ。おひれをひ殺。うんどうするハあくきとセリ。こ
とふう一うまへハ。二千石とまるとセリ。ちあると生
生泊ます。はく。十八あく。う。どもひすくある。うめ
めいうて。せてもまれなる客を。ほ氏の君。あうひの
男。あまへして。う。ちくが命とお。手の思ひ
ふとおあらば。おもくぬ女ハふく。う。おと。林と柳と
北南。匂いあく。おとの匂。とういふぞうはもふ
れ。れきり。娘も。あい。う。う。もく。わふ。う
いとふく。う。きの。まの。今もとく。よ。飯未下
た

あの床。」のアリクト。目黒のジマ。良葉ミヨモト
ちく。名医もわくむれしよ。並よもすの猪もとま
いぢく。帷幕カめぐらとま。とくのあとくちもとよじく
コ件のやまととまのい。えろハコセー。おまも。まき
よるやよりの系。いけばひす。恋のゆふやを
周へまの。まひるや一枝のアキト。百葉も
まき。日くよはれなま。まひり。いがづ
の。叔父のあくとま。いがづ。おとねがづ
約。かくおれ。いやなももていくなびけ
のまときら。く。れ。おまのありう。思ひりで
なまき。鉢とゆく。いゆく。まく。ぬほまれ

彦と波と被褐。はまどる。娘もかう艸やは草でら
のも川テ。や一つよる浪人あうと。そそ未をくも
尋。よ。その人ともあうの秋。むちの。考とく
に清。跡の。えー。地。人の。も。は。お。を。よ。ぞ。ち。ぶ。
駆。よ。か。大。悪。よ。げ。ほ。ま。ん。の。も。よ。い。き。が。か
エ。ー。と。げ。や。と。と。ま。く。も。兎。の。め。も。そ。く。な。み。よ。で
ま。眼。と。お。す。か。ぐ。〔周〕 そ。で。や。ア。お。こ。ま。く。あ
さ。や。せ。と。ど。ふ。ま。る。と。も。少。あ。か。ア。お。つ。ち。よ。ぶ。ア
ま。〔周〕 ハ。テ。と。し。も。ま。く。ふ。う。た。う。や。せ。と。お。ぐ。ド
ても

ふされやさしくあつたよ。内めづらうふま。たまひへる。まへる
とくらみゆめとぬいで。よやう、うつせ。女房の布さうりあす
と。うなげして。手と扇のそばれゆびまじ。もねひと扇

よきや。か一やアビ
吉い人や。

アキハラ
六三
さあ、いよいよモードくんがちかく止んで
りうてお出でやー。おまえもう、ヤーとあきら
かまれやー。どうでもクリスマスアドベントもやあ、
あさい。トモハ、まだよふい
でーあとまえ
おひるの
じよんのやうよ

内あバ。ちくやまもものうちふまえお
のうへぐくよ。山向をこむる。モラヤツとお
あがつれせー。モラアおやまみをハセ
トよもい。れぬござ一まいあんと壁。やぶれ
れい。吹きよ。まへがまのとす。よ
ちやを。する。ね。かー。か。ハ。ま。も。ぐ。ん
ま。じ。か。す。え。ま。う。け。よ。り。き。ー。が。あ。あ。ま。う。に
お。の。も。の。つ。じ。や。ひ。く。ア。と。ま。く。て。お。さ。く。し
ゆ。ま。ナ。ー。が。お。も。ゆ。め。し。バ。ま。ま。と。ま。ば。ー。百。半。二

うそいざれと年もけのこともあつれりとままである
すまひ。うきよちのびもまたへんもおよかぬエの小柄と拂ひ
れて。よぎ布をかゝととくの二ト手、ちくに
やうう、うるふへもハハツ布もおまけて。湯入
うそくぬきとぬぐひとたげなくら。おもぞくまくよ
立ゆ。よぎ布をかゝ
はえせんとあけ せ
まへとまどまがゆつまい。はやくてもはまか一まと ほ
じよぎ

がとんと。のたり、ぐるぐる。しゃーた國はもひふい
あよびなすわやー。はとおはういあまつちやアをくわせね。
えれよ。まつちくまきほけあいよぎくさんとおおむら

いきやまとアソブ
いそがすりておまかし。ともかく
そのよぎておもとおの。一。きものとど
二七の日ち。一。と。まく。かし。し。ち。ヨ
モレ見ぬさんや。ハ。ち。し。け。す。う。ご
と。まく

今かとて
せうすに
やせり。二
あたし
おもひし
まつり。
やまと
のよきか
とんあそ
で。一
あは
が
くまふ
くわ
れわく
なま
しめ
が。ふ
まつ
よや
ア
ちく
とも
か
り
やまと
ちくとも
か
り
あふれ
や
ま
く
わ
れ
た
く

とい

よハ

うんあくじふびト魚や二の肴をくじて。いやや
セモ一ダ。女房は湯づくゆ。ドキスルとくおでけで
レジジヒミジセー。ヤリキ聖。あいうち川の。こやあよ。ま
けて裸でりくさ。あめぐくハニド。衣ハセー。と。もな。
だき火沐でわる。あきハか。あく。こてふ。ぬ太。あ
そてハモハあまくと。アシセ。いは。も。いと。ふ。こく。だ
キ。ゆ。る。あれじ。一まん。浮。と。く。一月費。と
う。一月あく。く。セー。いつまでが。ては。く。に。え
樹。あ。へ。と思。セー。ゆ。と。り。の。こ。ち。く。あ。く。し。よ。の。の
き。熱。生。ま。房。疫。の。傷。毛。ア。そ。の。ま。一。點。よ。大。く。參
ニ。ト。一。多。り。の。人。參。代。よ。ぐ。一。人。さ。一。ば。よ。ふ。よ。ひ。ど。せ。り。で
は。き。こ。ち。り。ら。悪。く。こ。す。ま。う。ま。り。と。ま。と。ハ。で。け。一
致。う。今。參。の。口。も。も。あ。く。も。う。れ。ば。と。う。ま。化
れ。う。に。も。ハ。ゆ。一。ダ。ハ。疫。神。と。く。る。だ。も。く。め。く。あ。く。を
あ。う。一。お。や。あ。と。ま。て。あ。く。ま。ら。ん。と。し。う。り。ふ
づ。く。ん。の。あ。う。だ。お。ま。く。へ。て。い。じ。る。よ。の。と。も。い。よ。木
精。精。う。と。出。て。ゆ。一。お。や。一。も。あ。ま。く。の。と。よ。く。く。に。
け。い。せ。り。よ。カ。と。じ。う。て。ア。ホ。ト。ま。と。く。い。ま。も。ハ。全
も。も。か。つ。だ。あ。う。う。り。ゆ。一。嫁。ま。ま。の。と。く。解。よ。幸。ち
て。ま。ま。て。【よハ】あ。ま。う。ハ。ト。一。に。よ。や。か。い。ま。じ
ふ。お。ん。ど。キ。ん。だ。り。ミ。く。一。も。も。な。り。や。ま。め。い。
こ。し。よ。つ。け。で。も。ア。ク。ア。め。が。人。あ。く。で。も。の。る。な。ら。

お。ま。く。



はとあわせまくら。何とらかま。雨あぐの匂ひと
きてあるから。たゞやうつりても。されやせぬぞ。え
ふとおどりも。ましいあくアゲ。もくじよ。陸
おまん。アリスがんばせやす。おもて下なされ
やまが。こゝれ。内。ついで下と。きく。やま。い。きア
とやく。おじ。びあき。ト。おと。おや。あく。まよ。と。と
くま。つるい。もの。あ。お。お。と。引。ま。そ。お。と。お。と。
お。お。お。ト。お。い。お。き。ゆ。お。ね。お。や。め。こ。く。す
國。おもん。ア。ウ。ち。う。株。で。じ。き。う。だ。き。今。ま。で。

ヤー。き。ア。ニ。ジ。と。こ。せ。と。ち。さ。ヤー。た。ぎ。そ。ど。お。や。ト。
び。ゆ。き。よ。つ。い。て。は。と。か。と。こ。せ。と。こ。う。や。モ。ど。ぎ
お。流。一。て。や。け。て。う。ん。あ。國。歌。の。あ。れ。の。と。う。き。は
と。も。み。あ。ま。み。ハ。と。う。ま。や。ア。き。だ。ふ。と。う。ざ。と。ま。で。と。い
き。ア。キ。ア。シ。ジ。ア。レ。ア。ビ。げ。ん。の。桂。ニ。と。と。う。び。ふ。や。モ
ト。ヤ。け。く。植。ニ。ま。て。國。は。女。中。じ。こ。む。き。う。と。う。い
し。ひ。ま。し。つ。ま。と。ま。う。た。ま。う。ま。う。ま。う。の。ま。う。い。と
う。と。と。て。小。ま。く。で。の。一。の。大。お。が。ま。と。う。い。

あへがーのゆ。一ねじがカブトちづいで。よらさ

まへちーのーと。めのドーーてうんぢんー

桂二

や。こうか山ど

國六

そくあ。せうとまかでうねに

一 おやーも。ねんちーのーまうと。二年のせーと。三と
ふたと。おやーと。おやーと。りく。ゆーあー。うーと。セー
まけこ。おやーと。セ川と名とう。あ。ふいーと
ええと。中このうーじとふくで。ものねをうつし
に、客縁といこいと。れとをむけてすうーはむに
の、月ナリよ。ひらのあーまとーのをと。うーちてふ、
むるあせいた。かと深窓よ。うーおも。まへつてい

せうよ。おもろくよ。おとくす。あめとく。まーと
うせなんまの今下。のくまと。やと。あるともあく。じ。あきく
ががく。みーだめ。まよひと。郭へりと。がんじやー
ほくま。おこむ。おこむ。おこむ。おこむ。おこむ。おこむ。
へたの。おき。せ川。うー。ア。あき。おー。のうと。まく。せ川
がく。おとく。うー。むねんの。もく。がく。ごく。うー。せ川
がれ。よざひ。うー。向の。うー。よおき。くめい。すまい
まひと。うー。と。あも。と。あも。と。あも。だつての。あ。の。うー。
まハよの。うー。と。あも。と。あも。と。あも。だつての。あ。の。うー。
まううて。店をまううい。やまふの人を。引。うー。日
起。く。よ。おあぐー。て。ず。も。と。なれ。を。看。あ。な。ま。と。金參

代とああうよ。日ごと、ぬまつ。たりてぬよえ
うまと深く者とあつても。その余たまけへ、妻の
めも寐むよゆるす。まん。まのまなづくおも湯を
らだ。直規模床。思ひだされましよおちへ。まほり
十八歳。ほきの身のタリかど。もつてもぬとせ川へあ
らまじ。おゆておとす。今いざれとゆ。行
たのみよなうかと。まひげんをぬきもせば。まうで
めをやくしま。あ、妻、がたまがくば。おまのまに
たまゆら。みとめうら。まのそと。おもせんせまう
た。がくとおきくはまと。おがくと。おもとゆり。おもだ
やうくまへ。まの悪と。たれば。おもくう人も
まのうれや。じんきの車。おうけいせのれきくま
せ川せ川せ川せ川せ

のえとねーもあもままでの。まどまくすりて。うい
ま。アレ。おの。おの。おの。おの。おの。おの。おの。
ちこち。ありふへ。おもくぐが。いろ男めもう
いきまし。うくまく。おたげきなんもふへ。の。もん
まいま。うくまく。おたげきなんもふへ。の。もん
ありたしも。おじせわ。おりしも。おつまよ。かい

卷之三

にゆき。ゆの松^{シラカシ}とちくま^{トチクマ}八人^{ハチジン}をひそ^{ヒソ}よつキ、志^シくへ昇^{スル}や
が朝^{アサ}とよき^{ヨキ}とあ^アよむ^ムるわ。みまゆ^{ミマヤ}がこ^コりも^モや、^モ
あれ^{アレ}は^ハと川^{カワ}な^ナ。じ^シ、土^トお^オ、^シな^シう^ウ生^リ。の^ノく^ク一^イす^ス。
ハナ^{ハナ}かせぬ^{カゼヌ} **川**^{カワ}とキ^{トキ}な^ナく^ク一^イす^ス。
よあぐ^{ヨアグ}い^イき^キま^マとちくま^{トチクマ}とま^{トマ}の面^{ミツ}ざ^ザーと^ト
え^エれ^エあ^アせ^セい^イて^テとま^{トマ}し^シや^ヤく^クに^ニ

國たぐふなんでもあらし。さまでおうしぬ。
國うめまみでじやう
まもと。うなごんでも一矢。
國ひしや。おとくろじよ。動き
びの。うんかく。國て山のくでつるやが。ギ
トロゴモ。うにゃく。よ。かくてもあきよ。つらきち
えをうくま。よ。あきよ。も。ひきよ。お

國 なづんじりく 滋 先川食ふ。おんもちがまきとそ。今
中のアヅカ。おゆなまくまく。ドゾラトキ
すう。おきてせきてまくまく。チビゴトキ
のきや。オズカ。はくしもじもじ。アツヤキ
きてこそと。うどん。いやがうなまくと。むくともない。ね
四やへまくらゆく。せ川ハ。おまかうと。やのアツで。ちよひ
ご

西川へおまかせ。さうねがんさついなかつ。
おまかせひき。またもじともさとまが。あらはるまきく
のよし。ドモシカシ。ぐく。すむ北みちのゆは。
けよりやのゆなれば。ふきの屋のあが
の角ふみゆくらまめ。比川ハモツトヨモウ
ぬまめ。いといとが。いのけしなく床よけよ。
もめがさめ。いた。なきそんちく。おなぎき

いづもまた、見てなましやぬ
さうへ。かねさん
と。やうすが、うまくまく。
おこへ
えのゆき、しづかくよみの水す
かぬる
なが生る
とはじめ
ト、はじめてまことをナ
セイ

川 おもへなれど上から。まくはり。なましゆも。
あれどうが。一參ああああ。ねり
きう一参。よび、なまきりすてのじも。こふ
てえらちの。もきの。それまくしゆるもの。
なれ

おひるだあらまうかんこなつもて。うりあ
くよりあそびして、すてうれぢますよと、それもあ
ともちう、がけいど。やくわまのよふ。わとくい
おきこゑ人をや。あまよれよわれて、たよせむなひがの

うへどもまづひよめとらひぬるひ
あむだんすと。ちてと、つゝれ、ひまもうり
外のまやくもえへでげ。くは、時もけよまい
ゆくよゑたゞいねくもれ。おぬももぢりぬしもえ
のかど。きこけいでいと。やはりいと。んのまくわせなん
トまくじくのふゝみへらすまけき。くぐりくすまく
ふく。おまくしめよもつはのつゆ。掌よぢりぬぐひ
とくともあぬよ。さうとバトよもましをうてし女
のかみ。女、まうううううとまきもの。やうだきくか、氣が

りじ。もふちんがもきうぬじり。もひなでらん。ちる
あへ。うきもじりと。ちや金うくらん。みゆう
せぐゆー。川うかのうさうに。うれざくも
やまざくとれより。おこえうとひー。あつね乃
床の。うべやふ

〔七川〕もーぬまーさん(きなみ)てもく ひの安
おもーりくもねを。もうアー うゆのい。重ちくりよ
なあと。ふーびくきてこれしちそそへ。もあふあく
てうづいま。〔九〕どふゆふきでもちいが。ぬー
貞心ハテキビくもくものうじの。思トトよふくわ

まく。おぞよ。川叶の。おはよもつから。せ
きくわく。まくまく。ふきな。まくわせくま
ぬーのふとく。まくさん。かくまつともと思ひよ
おまきまく。〔八〕ソレモふくなんまく。あわと
まのね。うき。もせがみ。中のアでぬうまく。財うむ
ね、いくつ。にてわちんまくと外のちく。だらーい
え、里うちうら。もしバアくわい。たしかもく。うあいと
絆のせひ。被の内でうき。おぞの。玉くおおとづる

時。ひるいやらかかへやう。えむすふむはひら
ちばはまきのうへふ。わいやまもん今れむ。ぶ
れもんはしやーがくじんとあてられなぐ。
モトモ。ふくさがく。ひも。ひや川セイ
トモ。トモ。けさひ。うどひ。ひき。とき
よ、ものとひそよ。おまく。おひそかう。せ川とつま
のり声。うげ。五
まく。こいもとと里のか。えみが

をきたるせう。見るが。まの都に。おが。みすら
もくともわざる。おとじ。かきとしけ。が。うり。川。ハ。ア。セ
ねき。こ。ち。す。が。ま。や。ハ。と。じ。い。ら。き。い。き。と。め。**[五三]** 何ゆに
おづいたる。下。圓。何ゆといはす。まきぬ。たと。う。れ。あ
れ。ど。が。ま。そ。ふ。や。ま。ら。に。わ。き。ら。ふ。く。の。も。あ。き。け。ふ
ゆ。と。ま。す。ワ。く。一。ぐ。く。ぎ。く。じ。ち。き。く。も。あ。き。く。し。
五よそじき。一。ご。ち。う。く。思。の。ま。に。そ。ち。き。く。き
ぬ。め。ん。あ。く。ふ。く。ま。う。る。ま。き。一。**[五四]** ま。く。じ。よ。う。ふ。く
な。く。う。の。た。め。て。ま。く。ぢ。く。み。く。う。ト。い。く。じ。て。セ。川。ハ。ヤ。く
お。と。き。う。一。切。き。ち。よ。て。ま。せ。く。の。と。ド。も。あ。と。や。う。よ。い。き
て。ハ。室。と。回。ド。し。死。て。も。穴。と。も。ぐ。ト。じ。せ。ん。と。ニ。セ。ア

卷三

かとあつて、さうすが川りのあらわにやアきくが
まきで、やうゆも五人、うちまつはたときまと
ひが

大せいや。やうしや。うしも。おとす。一つおまや。やうしや。
せんき。一葉てよみをととく。れうへりか。おさひえ。
そと。そと。そと。そと。そと。そと。そと。そと。そと。そと。
せ川。風流。床よ。け。一ぢく。用文の。動。紗。南山
の。春。の。色。一角の。む。器。よ。拂。と。拂。と。拂。と。拂。
ま。香。た。き。ひ。の。茶。器。の。ま。と。う。ぞ。よ。い。ゆ。
う。に。下。よ。な。め。俳。價。朱。儒。山。彦。が。二。法。ハ。雲。よ
ひ。ぎ。き。わ。う。の。ね。風。ハ。う。ア。と。や。う。う。今。の。ま。よ。か。す。よ。う。
ん。ま。う。か。ま。う。が。み。ま。よ。ハ。凡。事。ゆ。い。ち。う。う。う。う。う。う。

洋子は餘れざれども、引生とちんよの、
あまき朱子儀が、さきせきとつて、さぬ。考ふらぬれば、
げんたまう。きとうて、二三いやとのみ、まくまく水ふ
ら桶あしゆ、やうやうのんまの事、いはく、いはく、
まつ大豆をすりゅ、かきいはきのはきのて、ひめはさん。
ともよけーが、卒ひゆうのきわよあく、栗もか、實、内
へ。まあ、毒もいも、身もまあよ、子ども、まももで、だいに、
机をくらべひりきて、かづく。みどりよしも、どのひぢも、うたひ
こねのあひゆ、うらぶるのめも、うちづくへ、おぞく花づくに
まく。國をぐくえ、おまくのづきんと、びじ、と、
うつうへんか、と、國引い、まくらのちもつえんがく、
と、國竹女のもと、そのづきえがく、まくらるもの、ごへまくへ

まう。うがねとあがなうば。いざことさんもあらう。おもありぐと
ゆうすゑ。こりと秋がちなまき。番ひ候まわはりてもう。工のやど
とお母よのをこしらむくる。すう。俄とみまくとよびとせ。お
母のふみやうじよたて。竹門の下すき。まごーのゆき。はる。
あすかすもがく。ほどのみをすすみよ。そんかけいすいお。
三度のやうゆく。毎町うらへ。儒者医者といかわ。へかり
酒のあくまで池をか。肴のをひて山とつ。放ちおのうね
あよきしよもんくわれ。うへぬいてきと。よぬ山きのくに。よ
くある。おこもれてはくする友。所の名まへ竹つのどうだ
あぬどらむと。今ばれようをかく。あらうべしゆく。かく
おも。運ひをせし。筆草人用。かこすあよせむしも。しの。
今ハむくよしき。ねねやもせられて。あるまのとおひすと町ちよ
とのんてつけや。人めとおふ筆草の内。ひとかくちぬぬへま。今
もせ川、獨りの無、う。まゆきがかけいせいば。ゆよからふるものかに
おひやまする覺のとど。す様もよき血毒。うさをかき。思す千半
巖母萬葉。もお候。毒。一。ゆ。さつき半とひそゑまう。し
病ぬ病ぬと。うつてふまく。とよびもよく。うかふは。窄
狭へだまへ戸と。えきて。鍛きび。櫛のす。う。ま
ドと。と。う。じ。くるめり。あせき。う。ま。う。う。勝。胎。耳。日。と。よ
う。が。る。ゆ。ま。也。吉。ま。ゆ。も。は。う。け。の。や。こ。な。う。く。れ。お。櫛
困。お。の。み。ま。く。が。り。ん。う。方。病。氣。す。生。き。く。と。き。づ
基。も。も。い。と。て。し。ニ。ち。と。志。む。と。ま。と。形。容。日。く
枯。じ。して。と。で。よ。ゆ。く。い。又。と。ま。う。よ。あ。の。ぞ。と。お。御。お。血
す。の。も。だ。あ。れ。ハ。深。も。あ。れ。と。か。お。も。て。こ。も。と。と。お。ハ
離。も。は。く。と。は。お。書。ひ。よ。令。じ。て。向。る。お。ま。の。う。さ
ま。う。の。お。と。な。う。よ。け。を

○ 第四

浦川のがくも白しらきのなす
うれしに新しんがたよにあむ。そまくはまくまくまくまくた
いつそうかよ。山やくがよぎだよじしなしてよくで
がきなまま風の風ふうそぢうらややたすすでももあんここか
あてゆきゆきおひぐどどぞみくらくらのやくののや
にに拂ほてもゆけゆけちちりほそくらくらででううししととうなよよ
せんあよせじじくうててくくせきせきににじじてていいももを
うたんうたんととうめうめうちうちききああくくややアアうういいせせ
の山やまの山やまももいいくくししせせののじじててききくくれれままんんたたききくく山やま
さんさんととううははききととががなくなくそそせせううぞぞいいくくいいききくくき
ややままんんててかかててああらら山やまののゆゆままととああくくすすが
そそのの人ひとハハめめぐぐ三さんねねじじややななくくてて
うれうれがままししななくくすす、ううききししままいい、ゆゆががふふくく、
ととよよううじじままるる、ああいいくくすすななんん、そそししかかややかか、
けけででいいががくくがが、ああいいきき、山ををままんんののじじななまま。

も。むうでむうとまく。おひく。あくまく。ちくまく。かくまく。
のため。うと思なぐ。おしゃべり。うそせうがの。かくのう。
ぢくす。あくじて。おくあくまき。おじけり。

でくど。ちくか。かくか。かくか。セツ金の。おう。
たい。うての。おの。でく。うし。うし。うね
官位の。も。おやだ。ちくと。みや。うし。うし。
さくまく。うし。うし。うし。うし。うし。
つて。うし。うし。うし。うし。うし。

なく。まく。まく。まく。まく。まく。

いせら そし。ぞ。うし。うし。うし。うし。うし。うし。

せん。まよ。ね。じ。お。あ。た。う。う。う。う。う。う。

や。も。は。は。こ。や。 も。う。う。う。う。う。う。う。

ちく。す。み。と。く。た。 う。な。く。う。う。う。う。

今。ア。い。せ。や。の
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

した。さうや。もうひとまき、かくして。もししくまます
うちや。うしまめい。モシ、もうひとまんぐ。もうやでも。今
さらりやといなんと。さき様へとからまほし。
かゆみ。おうもんたらう。うめぢや。うさもなう。いせ。一
はまつて。ゆめらし。かゆみさん。ためびとまくまん
しかり。どんが、うても。あゼなう。けねい。うもてたろで、
「あきよ。き山」とまき。うもてたれ。うもせ。いく。ごくく。くく
えまほだ。よへ。ひととむす利とわうひれ。アラシギ。うき金
のう。金。うこうて。はふざ。きのたよき。まう
たいのゆハ。か。やせ。ども。時。か。じ。あが。うき。まくまく。まくまく

山アセ えんかよ。金がり。ゆめりく。金おと
たい。ぎふか。もど。おうア。もく。いや。う。レ。や。う。てもよ。あ共。も
みく。か。ト。しの。か。く。ほ。の。ま。く。う。大。ど。
う。た。も。い。や。う。う。も。い。ゆ。う。子。ど。も。ね。え。と。き。た。い。う。あ。う。ひ
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。

の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。
の。ゆ。う。き。う。し。う。け。の。ゆ。ち。う。く。の。ゆ。じ。う。く。

のトコロ大あが。むかしよみうらやまくらへ
あくびつた。あはるまくらへ
らんばんたうがふと、まくら。うちうがまくらへた。
んぞおじりいとがで。むかわせなむくらへ
がみゆく。固、あくびつた。うじゆく。そーてちへるやあ
たまし、せぬ。固、ハテ、シカくわきのと。あくびつた。
ぬ、やーとのとが、うじゆく。固、うじゆく。
と酒で、じてひなうけ、ハテ、せぬ。
いはく。固、いはく、山のじゆく。固、うじゆく。
せうや、うづくまな。固、うじゆく。
すや、ちづくまよ。かわせじ、うづくま。
ちづくまよ。うづくま。と、うづくま。
あじくまよ。うづくま。うづくま。うづくま。
のゆく。
のゆく。
こまくま。うづくま。うづくま。うづくま。
これでもうづくま。うづくま。うづくま。
うづくま。うづくま。うづくま。うづくま。

あきうへしてひどくひよりやせかわらのまなびと。

「アの事はわからぬ。おやむねど」**セ川**のせい **間**だと云ふが

わーかうあとどのよこてうしなく。ふやく揃ひ

で。」**山**あーやはじめにかかって、ねーにかぎりにかか

く。くじらしぬお事。今ちやんかいへい **山** **ハ**今

まことぬ事とばかりい。おもきたい。まくべふトや

ちんぐすたぐとして。のまつじゆうして、なかよし

いよみ **山** さくにかもうね。まあのまくべだら。そはま

たをみて **山** そのまゆが。まゆて、あははは。今で

おこりつる。さて。人の多くにかかる事。見てつけたまくべや

外のまくべ。肌あれ。おへそ。ちかした。おーおのけんか

らまくべ **山** や。おまゆはうがいが。だよもげ。がのせいの

みまくべ **山** 外のまくべ。おまゆをうがいする。おまゆ

けせ川と墨なみ。おまゆをうがいとおまゆ。おまゆをう

なみ。おまゆをうがいとおまゆ。おまゆをうがいして、

まくべ **山** たまくべ。おまゆをうがいとおまゆ。おまゆをう

がも。アキアナムヤガタリキ。シモカミズキカツテモ
アモホトハ金のアラレシカヒ。事ノムヨリテ。ムサシモナム
アモ。今ノ世ニ。首のトボカヒテモ。さぬ中に。たゞアモリキカガモ
アラ。若ニミル。アマシカヒ。ヤハニトクナヒ。ミテカヘ全ハ
ラホ。四[セ川]た一ノ百あとまく。キヌアヒテ。アマシカヒ。大屋山
ガテ。アラカラ。カホトドシテキセヒトアリ。トクヒトモセアリ。アリ
トモ。六。のアヒキ。ヒカセナヒ。セ[セ川]。アガシカホカ。アガシ
アミモ。高山。アスカ。アタナヒセ。アスカ。アタナヒセ。アスカ。

封とあらへよ。もし二つある。のうでもある
え

ト。かのもの。こへにが
や。が。まきとまく。すよ。え。か。か。ゆ。き。
い。も。ほ。す。せ。う。さ。う。さ。
い。か。い。き。の。あ。ま。す。床。
川。セ。川。ハ。ど。く。よ。う。の。ど。セ。川。さ。く。よ。
大。ト。く。ハ。も。や。く。の。く。

いふが。されば、たゞの事か。
みとめてすらまが。ちんとひそえやう。〔四〕 もとでしもど
きでも。かまくらをなすのゆゑ、せんせりやうで、いかにもすま。
かくもかしけぞ、ハラま、あ、セ川。〔五〕 テホ、カムトモと
ない。あまくかのま、いきまへる、のまへり、やまとれひ。行まう

もあつてゐる。かしらやうのなか。かまくにゆいて。づはやく
はくまで。らふがコレ。のを。やめむ。なまかで。ち
くあいの。やちまなと。やあざうて。ぱしきら。がいあせ。ぱ
はうが。つん大病で。じくに。ぬか。びく。ミル。と。あ
くま。寂滅。お坐の。よこさん。がいで。ぱごみて。じく
で。ゆく。い。川。そよや。いの。よで。うしも。一。國。われもき
山。を。と。つま。ト。まくまで。ひねよ。行。國。の。まき。山
きく。あく。が。いくの。よどりて。ひと。ちくも。かまく

でうへい川カワをまやいんのままでうへいとトわれもさく
山ヤマをとつまよトツマヨひねよヒネヨ川カワ
山ヤマのまよマヨき

まちひきしてよまでまかまくも。かくしてもきて三十九

山
されよやつても。まかまくしる、川
えりやまされぬ

のよさよしりとくにあんも

山

えりやまされぬ

め川
まかまくわきも。おいで、おいで、山
えりやまされぬ

りよみう。おちかなくわいて、まかまくのよきトやない

山

のよきトやねのむ。まかまくわせぬ、川
えりやまされぬ

山

おじいんと、おじいんと、おじいんと、おじいんと、

山

がつ、せ川。あきらめ、あきらめ、あきらめ、あきらめ、

山

さかよ水と、さかよ水と、さかよ水と、さかよ水と、

山

まじまつて、山
あど、ゆつて全とすすゑでも二

山

千あでしセ川と、みづづれて、川。まく、まく、まく、まく、

山

そりで、ゆく。まく、まく、まく、まく、まく、まく、まく、

山

まく、まく、まく、まく、まく、まく、まく、まく、まく、

山

おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、

山

まく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、

山

おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、

山

おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、

山

おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、おまく、

うれやがりよ。アレもあし。あるまじめ。ナラハギ
アヌカヒセリして。五三さんへはむかせられて
ぬうがのいよナト。おほめまる。と同姓姓 **園**。も

いふくわけのまとも行ひかき。一同でえふまきて
あひてぐかおりた。おまとさんかまき。久やまへで
まわる。里ちんまゆも。でなましまゆもので。うづね
ぐのうのうつる。そしでもす。いせ。五三さんた
ふとやうへしたのがだ。まきうよして。どうぐやで
かまくさん。ういぢん。まくさん。のけらひ。五三さん
のいなんとあつこすよがまうふ。うたてすよ
たして。へつて。まちへせまく。おしが。かふす。まんす。
ぶくびくうち。がくがくのへらます。でも。まくひよぐ
も。ういとまひ。うきて。れん。圓たのも。じよよくかと
アレをあらわす。いやね。うみて。すおかまのよもじた
にあんのいんとまく。五三さん。おうじどうひままでハ
はがだ。どんふときわも。いしやましや。 **园**。もしでまつも。

おちつまひーた。サアきぐらしに、雨でもちらつと。よつぐちんし
せ川せがわのあの方のあらかたねよ。あらうの入用お前
お祭りにして手に石あつて。ねりの一件けんあらわば、筆をかへらへりて。内
もよのようらへが、あらもあらぬもせ川せがわ。やくの千家せんかのもの。一。
あらううびふるして。せ川せがわかきせきをども、あらざとよびあらう
川せがわ
口しゃうけどもしてしま、ともかく。さんか、まめではあるに。
すまうとくをして。カキカキとくとくとく。からくに
よ、いなぐらふとくようけても。かきカキとくとくとく。からくに
し、カキカキでもあなんくら。すまうとくとくとく。せきふごつ
かきカキとくとくとく。口しゃうきのもぐりんじむ。

卷五

やもぎむしのぐれよはまびくすまくぐわすかとひつめ。せ川が
そよごとよよぎけしが。もとてまだてのせ川が、おもよひ、山々をよじる
きばくへドハまどへきりようて。
〔四〕 や一おまくらはまんこ

た人あつてもまづいふ事
なれども、少くあれど

らぬとハシム。せうが、まことにあなどる間には、のぞむ事無く、
よ。やんよそのみ事、すこし、いなぐら。一
四

だらくせんか。かせ玉もじが
なまうて。じよやまわざがなまうて。
がむられもの。むしりふくらう。
めでくまとよの申にうと、うるい黒へきた。
なをとげても。まよひことおしゃべりたら。
たのみす。じぎよさま。四あまむちい。どくが、すまか

てそなへまざりしがれをりてゐる。人のよかよやどまい
はのうじよ、トモーがんばる。〔下〕あれでもひじともが
こひなまします。〔中〕どうかよほんうしなのあんせんへ

なうやうでつねうて、おまえさんゆゆせども、〔上〕サの
よだい。おまえさんよゆくのまへ、さがーのぐる
うき。そのじゆみがひゆくまで、だらうもじつにしがゆが
トモー。わざわざおまえさん、おまえさん、おまえさん、
つけあうぢし。〔中〕ふくせば〔中〕ふくももあくの
まへたまさんやおちやとおげや、まうやくくとまへ

おのーともよきや。してじだくあ、アじよのよめくらの
たまのれな金から。ちよとづくいよ。今みともこ
あんたわくちむすぶ。ちよとおゆよづくいよから。ちよと
ゆきよいよ。おひせんやアきぐまみひせな。〔中〕をくしゆや

おまえになかつ。〔中〕さんかアコトも、うつせぬが。ほいむつハ
たま。さんかまくわづても、うつせぬが。まのてうつは
まへたまくわづても、うつせぬが。まのてうつは
まへたまくわづても、うつせぬが。まのてうつは

ものにまつわる。おもむかからぬ事はいふやあぬ。
たゞのあくへハシ、出よア。おとこはせせ川がにげ
てゐる。せんじゆるかのうへ、おとこじて。大のをと
こへつけひて、ちよとてすまふゆく。人のがとく。左
手、とくとくあねば。のうへ、おきねうしむ。お
まゆあひのあはせ川がだもともりあねば。なまかとくとく
かゝる。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。
まくがとく。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。
おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。
おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。
おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。おとこがとく。

とえほし **トド** サク **トド** みのあくきかわす **トド** ニヤ
なぐじや。おうじて。おうじや。おとこあくじや。すが
トド おして。おの。一メと。きや。じや。なに。 **トド** おまくも
やうかくとく。かくア。おしがニア。おまくとくの事。おまく
て。一歩の事。あら石矣。石んあら。おまくとく。おまくとく。
えでややた。うづくもの。おせよア。おまくとく。
さとじし。うんほし。 **トド** きの。おまくとく。

あらわくかのうじてのアハねじ。トキシレよ。[カ] フルカ

アハ。ミサシシタガ。なげだつて。と。でかられて。さ

カ。ジトジヘテタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ

ホイ。チヂカ。アハ。モリ。ヒイ。の。セラムニ。ア

アシテ。の。ナシテ。カ。アシテ。レミイ。で。アハ。[カ] ニヤアハ

アマタハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタ

ハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタハタ

卷之三

七
川

り。ちつとういしていせ。ト、あも大くそ、
の南ハ毛川也。まどてひ、もと。もおも
よ。かがすし。まもんのや。せ。ま。ひ
そくかへぬとまの。う。わ。ち。も。ま
く。人よ。り。と。さ。う。ら。う。ど。か。く。毛
川。ア。も。ま。う。う。か。ぶ。つ。て。ま。り。大
川。ち。ま。

わからで。」
「がまちあアジアもあらぬ
ふアヨカキ
やうなよ。あまでハキとあて。レム、ドムよ。まくいよ
あがんとか。アス、アスで。ふき、きんよ。うき、うきハ

ぐふニニ十里うち四十里。○**セ川**

ふこゝへすきとおどしてまくす。かへ
すきとおどす。かもれどおまことりひら。ト
のまき。コレつめまでも見て。ちぢみせたよ。つるで
あでもよあがく。がくコレやがく。トよまく
せ川

ぬよじに上かへてかとんまを。下イナモニ
までもまづまひにあらわしもまづりまくはん
をいたらくともかくかくからまくから
す。よみがえ。草むか春もむかす。おのむきが
生死のゆい草がのむすとまやい開1年で、

はよなつて。幸まつ。岡を下りて。やんのす。下へ
めりして。がさり。方へて。たゞしげ。力のんよ。
よし。むの男よと。生えやう。身心。脳のれあれ。
血暈と血のろあざ。ヒ川。らへ。ナヒの。ものさ。
東のうへ。よせちうて。松木の。ぬれと。はへ。かく。
まく。落葉。木の。まく。山ぐれ。ヒ川。がれがい。もと。ヨリ。みくま。

ちりやーーつこぐなとくらんばけとく。常と後とのうみ
つい。セ川が春のと、とくよとひそんあらわ。む川のじゆまく
えくましいえ。あくまくふとなくよ。

○ 清川へ一念

むきーのへ向ひよゑもさき。まもとわみ山とげよハ
まうきー城^{シヤウ}と岩^{イハ}。玉河のふれハ葉^{ハタ}とめぐる
えいを、平^{ヒラ}蕪^{ハラ}財^{カネ}。さて天外^{スズナリ}。あよ六音海東
西よやうべ富士浅間^{カサマ}が、とくべくば茶倉^{カシワ}。と。山^{カミ}て
波^{カモ}晴^{ハマ}のじよ山^{カミ}の形方^{カタ}。外^{スナラ}のとくみれば、ます
ゆみ山^{カミ}のまく。井^イ山^{カミ}とくあく。しば山^{カミ}よ外^{スナラ}のじくす
なく、色^{カミ}入^{スル}外^{スナラ}の山^{カミ}。かまやーはあ、よしき世^セと遡^{アラシ}
秋^{カミ}よまびのう虫^{ムカシ}のもの切^{カミ}。ふきとすほしめ。月^{カミ}よくぬき香

さき^ミ鹿^{カミ}鹽^{シヤウ}うみかうす。おき^ミ望^ミと縁^{ヨシ}よそもかき^ミ黒^{カミ}。さく^ミ霞^{カミ}
だる風^{カミ}よす。萩^{カキ}のわ戸^トとくづくとくづく。かまやーのまくす
立^{カミ}よ^{カミ}さん。あくわけて。えんぐ^ミし^ト不^{スル}ま^スよ^ジのを^シす
ぢく^ミ五^{カミ}。お^カくアん^ミ。と^トひまの^ミ。まんや^ミ。ま^ハ
女の声。狐狸^{カミ}の声。ああああああがみよ^ミて^アて。すなご
アキ^ミ。セ川^{カミ}。そんがものまもとせんせぬ。ワ^カと^ミよ^シふ
五^{カミ}。ヤ、そのま^ハ。セ川^{カミ}。セ川^{カミ}でも^アんまり^ハふ
かも^ミの^ミ人^ミよ^シて^アき^ミ。た^ミハテ^ミと^ミあ^ミて^アき^ミ
す^ミや^ミふ^ミして^アもの^ミ。そのだ^ミて^ア第^ミ。セ川^{カミ}。ア^ミ

四
十

立
御

ハめりとわじが。さきゆよ。もつけたすで。うしも。國
コレやひ。そのまをままでなまが。おぎとまて。まは
もまし。アハがきて川アキ。まくとすよ。ハジ
た。まき、ぬみひき。が。まのまかたちへぎ。うて
元めふと。ヤルと。しかもとて。まき。まき。そ
内も。のせ川め。まく。うて。りそ。であら。
牛の役も。も。ぬか。も。うんでもゆ。と。と。
け。まく。まく。いふ。まく。部。一人と。や。一。
よ。まく。と。まく。が。まく。せ川。まく。出。まく。に。まく。出

きしらにがるの事か。Pもとへきて。かのまくと。でもうこき
りの時のれしめがれ、どみゆに。ゆらぐと、あまむものゆるをれ。
まくは、ゆるまくとせよ。やいとも、まくも、づきとて、も
れのあまくとあぐいと、ゆいびゆく、祝のまくとくわくと、お
すよせとの、し。まくと友とす。まくも。まくしとまくとまく、
トたゞととくとく。かくづくとくとく。かくづくとくとく。まく

西川
アガチナリ人せんじ
レラグよ思ひへも。ま
此中あらじよ
のとくのとく
おれやがれよとく

ゆふあらひのよきなぐき。ものもよとまがじて。ども
草はとまやへやぬあけ。せうれおれも。じまくわ
人をなし。郭とせざるをぬる今とがしもとがい
世で今一ぞりよて教えしよと。もあはくとよと
く。おもがときわつゝがまははうて。やく
みおしまぬふとむにじてほれてあまぐくまく
いたてる。もうれなんざああらやまくくじと。つる
がおはとよとよと。ふかまきて。やんくとまく。ものとづく

て。アレのをも。ワタまじこじのむと。ハニヤシ。
かな。おとく。 事 ちんく。むせきじかく。ごとく。その
あさぎ。かくふぬ。いあんやうのまにむかふあんた。や
と。あなのと。 事 カー。ねがても。ワタあおき。むかき。
山がゆく。さやつて。まくらむる尾。むかがおぼ
よ。いきどとだて。三ツまくで。オダマキ。にわつひ。けいせいの
貞女のかみ。人のせまども。ハから。猫。もとく。も
のをふ。魂。一時もよき。おとく。 事 イエイ。ウム。

アリ。あたの身やまきせに。が生れ。まく。まく。
あんちも。うねが。ぬか。のいみ。ある。今と。が。て。
も。が。よ。う。た。お。ま。の。ふ。と。う。で。ま。い。山。で。ま。
て。や。ゆ。ひ。と。あ。ゆ。ま。お。い。じ。う。ぐ。く。お。ま。ハ。お。ぎ。そ。
の。ゆ。に。も。く。と。お。む。り。ち。き。え。ア。ミ。ヤ。ウ。め。が。く。ま。で。お。ぎ。ん。せ。
か。ひ。う。じ。て。く。い。い。と。お。ゆ。が。と。り。よ。て。あ。き。
そ。し。が。じ。せ。の。く。う。く。う。の。く。う。が。う。た。お。う。う。う。の。く。う。う。
そ。れ。が。じ。せ。の。く。う。く。う。の。く。う。が。う。た。お。う。う。う。の。く。う。う。

五
國也。またかがり。いざくらをもみまく。人よあれ
のゆき。かせもとれ。えひじかく。とれゆめ。あきら
トぬく。りく。志しゆきて。さく。八せ川。六郎
やう。元。く。さく。
あつて。幽魂あよび。きて。ひ。まく。まと。わく。せく
ト。ふとだまう。ぐ。ト。ふとだまう。ぐ。

今うかしけりぬす。かきとしもあ。きめいとしもあ
非ざれいが、なまびるや谷よ筋にて。また野莊のねぐらとす
みが。旭日漸くともよ生ドて。まづ數珠の軸をてしもとあ、ハ
名よあますが、たゞれす。すぐれもとくすみじよひとてはす、さ
浴衣香よ向了井花よ。北むうちてひととこまぬき。浦川幽魂
頬透仙果と志。一念下てかみくわゆいを解す。うき
きかもしよ下。」

やがて永いはね

ひ。新ごくすこてあらわ。い面おもて／／もんづけし。毛角鷦さきまき
をすこすい。おがんと、ゆるみもとく、ものとまど。極きわまくお
内うちも。鷦さく。西にまきよ。うなす時とき。おまくらめおまくらめまも。鷦さく。
すあくまのこ。○色男いろおとせとせくべ。おうとくも。も
がく。ぬめのたまき。やまき。が男おとこ。むや。けらかやう。と
て。おまくべ。くらまとせくと。ゆうびのふ。のトコふ。
アモ。ほりよ。變化かげあく。ぐみき。のけのせ。と。あらわ。

新規もよからぬまじ。とくに「モモチラ」すな
まちうつと見とす。もとがるやうアリび
とくへ名角うそと引つて。庵花もたゞか
うそもあくやう。と今アトリド。たゞ、さらには
さうがト。おめえ四段の内ハ。同とぬきを追續
てゆくやうやう。却處のあざん。叔父^{おじ}又が^{おじ}ア
いを行^{おこ}すても利^りきよ。まきげのせいの情に
まるす。もむくべ。口中おだかみす一の^の

さうがく。と化粧^{けやく}。自然のまひハ大のみちん
○ひ年^ひから^{から}きく。け^けきりふす。因^{いん}の。三^{さん}ヶ^カ
太のさんまつ。すぐて。まき^{まき}うよが^がだ。ま^ま
内^{うち}もん^{もん}情^{じよう}ある。空^{うつ}はと食^くむ^むべ。のね^ねと^とあ^あ
にて。まきいのまよが^が、まきうよ^{うよ}い色^{いろ}まよ^{まよ}な
ちよ。まわす。たぐのよ^よあま^まくわく^{くわく}と^とハ。まよ^{まよ}
あ^あのが^が、まよ^{まよ}うよ^{うよ}のひよ^{ひよ}せ^せ、ひよ^{ひよ}、^{ひよ}
○でいも^も教^ううて。まよ^{まよ}。しや^{しや}まよ^{まよ}。まよ^{まよ}

あくたにまつわら。かくはくはくはくはくはく
なんぞかくとくとくとくとくとくとくとく
ときとくときとくときとくときとくときとく
なく。たるのまはよ。とくとくとくとくとくとく
あくたにまつわら。かくはくはくはくはくはく
こむよまとつへ。かくはくはくはくはくはく
かくはくはくはくはくはくはくはくはく
そくのうすあくす。かくはくはくはくはく

